

『medicina』 第58巻 総目次

2021年 第1号～第13号

(数字は頁数, ()は号数を示す.)
(4号(増刊号)は10頁以降に掲載.)

【特集】

■ エキスパートに学ぶ—最新の循環器治療薬の使い方

〈知っておくべき10種類の循環器治療薬と治療法〉	
〈心不全に対する新規治療薬・1〉	
アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬	
(ARNI): エンレスト®	稗田 道成 16(1)
〈心不全に対する新規治療薬・2〉	
SGLT2 阻害薬	加藤 恵理 25(1)
〈心不全に対する新規治療薬・3〉	
sGC 刺激薬: アデムパス®, vericiguat	
…… 杵山 陽一・田原 宣広・福本 義弘	32(1)
〈心不全に対する新規治療薬・4〉	
HCN チャネル遮断薬: コララン®	
…… 奥村 貴裕・荒木 孝・平岩 宏章	38(1)
〈心不全に対する新規治療薬・5〉	
V ₂ 受容体拮抗薬: サムスカ®	犬塚 康孝 44(1)
心アミロイドーシスに対する新規治療薬:	
ビンダケル®	柴田 敦・泉家 康宏 48(1)
高カリウム血症に対する新規治療薬: ロケルマ®	
…… 木田 圭亮・土井 駿一・鈴木 規雄	54(1)
高LDL 血症に対する新規治療薬: レパーサ®	
…… 石橋 健太・山根 崇史	58(1)
高トリグリセリド血症に対する新規治療薬:	
パルモディア®	
…… 吉田 尚史・山下 智也・平田 健一	64(1)
循環器診療で使える漢方薬	北村 順 69(1)
〈循環器 common disease の治療を再考する〉	
〈心不全治療薬・1〉	
利尿薬	杉本 匡史 74(1)
〈心不全治療薬・2〉	
β遮断薬	長友 祐司 80(1)
〈心不全治療薬・3〉	
ACE 阻害薬/ARB	澤村 昭典 86(1)
〈心不全治療薬・4〉	
ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(MRA)	
…… 夜久 英憲	90(1)
虚血性心疾患に対する抗血小板薬	
…… 鈴木 利章・片岡 有	96(1)
心房細動に対する薬物療法とカテーテルアブレーション	
…… 安 珍守	102(1)
弁膜症に対する薬物療法	菅原 政貴 108(1)
構造的な心疾患(SHD)に対するカテーテル治療前後の	

抗血栓療法	磯谷 彰宏 114(1)
抗がん剤に伴う心筋障害(腫瘍循環器学)	
…… 小宮山知夏・鍵山 暢之	120(1)
深部静脈血栓症	金 基泰 128(1)
高血圧	佐藤 宏行 134(1)
〈Column〉	
高齢化社会において、循環器薬のポリファーマシーをどのように考えるか	
…… 登 佳寿子・室井 延之	140(1)
〈付録〉	
循環器領域の注目すべき治療薬	142(1)
本特集で用いた主な略語	148(1)

■ 外来で出会うアレルギー疾患—Total Allergist 入門

〈押さえておくべきアレルギー疾患の基本〉	
アナフィラキシー	関谷 潔史 193(2)
室内環境アレルゲン—ダニ, 真菌, ペット, 昆虫	
…… 河原 朋子・三國 肇子・鈴木慎太郎	198(2)
成人食物アレルギー	森田 栄伸 204(2)
アレルギー性鼻炎(花粉症)	大久保公裕 209(2)
気管支喘息	
…… 富保 紗希・正木 克宜・福永 興壱	216(2)
薬剤アレルギー	山口 正雄 223(2)
慢性蕁麻疹の診断と治療	福永 淳 229(2)
血管性浮腫の診断と治療	猪又 直子 234(2)
〈アレルギー疾患診療において必要な知識〉	
好酸球増多に遭遇した際の診断アプローチ	
…… 中島 裕史	240(2)
アレルゲンコンポーネントを用いた臨床診断	
…… 福富 友馬	246(2)
食物アレルゲンにおける交差抗原性	
…… 近藤 康人	252(2)
アレルギー疾患における経皮感作の重要性	
…… 大矢 幸弘	258(2)
アレルギー疾患における妊婦・授乳婦の薬物治療	
…… 川上 美里・村島 温子	262(2)
アレルギー疾患における漢方薬治療	
…… 巽 浩一郎	269(2)
〈知っておくべきアレルギー疾患とその周辺疾患〉	
花粉-食物アレルギー症候群	矢上 晶子 273(2)
ラテックスアレルギーとラテックス-フルーツ症候群	
…… 松永佳世子	279(2)

アニサキスアレルギー……………	原田 晋	284(2)
食肉アレルギー……………	千貫 祐子・福代 通人	288(2)
金属アレルギー……………	足立 厚子	292(2)
好酸球増多を伴う肺疾患		
—好酸球性肺炎, アレルギー性気管支肺真菌症		
……………	浅野浩一郎	298(2)
好酸球性食道炎・胃腸炎の診断と治療		
…木下 芳一・大内佐智子・田渕 光太		303(2)
好酸球性副鼻腔炎の診断と治療		
…藤枝 重治・足立 直人・小山 佳祐		307(2)
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の診断と治療……………	天野 宏一	313(2)
〈専門医が答えるアレルギー疾患における Question〉		
食物アレルギーにおける食事制限はどう指導すればよいですか?……………	佐藤さくら	318(2)
喘息患者に造影剤を使用してもよいですか?……………	対馬 義人	322(2)
NSAIDs 過敏喘息患者の発熱・疼痛時はどう対応すればよいですか?……………	谷口 正実	327(2)
ダニアレルギーによる喘息にアレゲン免疫療法は効果がありますか?……………	中込 一之・永田 真	330(2)
アトピー性皮膚炎に対する外用薬の選び方と指導法はどうしたらよいですか?……………	柴田 夕夏・朝比奈昭彦	335(2)
アレルギー性結膜炎に対する点眼薬はどう使い分ければよいですか?……………	高村 悦子	339(2)
■ いまさら聞けない! 肝胆膵疾患—みなさんのギモンに答えます		
〈総論〉		
肝胆膵疾患の診療の進歩と留意点……………	泉 並木	390(3)
〈肝機能異常をみたら〉		
急性肝障害を診たときの鑑別診断……………	八橋 弘	394(3)
肝炎重症化の予知と紹介のタイミング……………	持田 智	398(3)
薬物性肝障害の対処		
……………阿部 和道・大平 弘正		402(3)
ステロイドや免疫抑制薬使用中の <i>de novo</i> B 型肝炎予防と発症後の対処……………	伊藤 清顕	410(3)
B 型肝炎と C 型肝炎に対する最新の治療薬の選択……………	鈴木雄一郎・榎本 信幸	416(3)
B 型肝炎・C 型肝炎治療薬による治療中の副作用と治療終了後の留意点……………	中川 美奈・朝比奈靖浩	420(3)
〈日常遭遇する肝障害〉		
単純性脂肪肝か NASH か?—肝線維化の診断……………	米田 正人・海老澤 佑・中島 淳	424(3)

脂肪肝の合併症と経過観察・治療……………	川口 巧・鳥村 拓司	428(3)
肝障害で見逃してはならない疾患—Wilson 病, α_1 -アンチトリプシン欠乏症, 原発性胆汁性胆管炎, 自己免疫性肝炎……………	原田 大	432(3)
アルコール関連肝疾患の見分け方と治療……………	池嶋 健一	436(3)
〈肝硬変の診断と合併症に対する治療〉		
肝硬変の非侵襲的診断—肝硬度の測定……………	玉城 信治・黒崎 雅之	442(3)
腹水・浮腫の治療薬の選択……………	厚川 正則・近藤 千紗	446(3)
肝性脳症の診断と治療薬の選択……………	清水 雅仁・華井 竜徳	450(3)
門脈血栓症をどんな場合に疑い, 最新治療を行うか……………	日高 央・魚嶋 晴紀	454(3)
血小板減少に対する対応……………	石川 達	458(3)
サルコペニア・亜鉛欠乏の診断と治療……………	平岡 淳	464(3)
筋痙攣(こむらがえり)や痒みの治療……………	澤田 保彦・赤羽たけみ・吉治 仁志	470(3)
〈胆道系疾患〉		
閉塞性黄疸の鑑別—良性か悪性か……………	南 裕人・田中 麗奈・糸井 隆夫	474(3)
原発性硬化性胆管炎と IgG4 関連胆管炎の鑑別……………	岡崎 和一・池浦 司・高岡 亮	478(3)
γ GTP や ALP のみ高値の際の胆道系疾患の鑑別……………	田中 篤	486(3)
胆管内小結石の診断と治療……………	吉本 憲介・岡野 直樹・五十嵐良典	490(3)
〈膵疾患〉		
重症度に応じた急性膵炎の治療……………	吉田 直樹・糸 潔・正宗 淳	494(3)
急性膵炎に対する造影 CT スキャンと急性壊死性貯留(ANC)への対応……………	赤尾 潤一・清水 京子	498(3)
IPMN を含む膵嚢胞性疾患の経過観察の留意点……………	筑後 孝紀・金 俊文・潟沼 朗生	503(3)
膵癌早期診断のための留意点……………	川路 祐輝・北野 雅之	510(3)
自己免疫性膵炎……………	神澤 輝実・千葉 和朗・菊山 正隆	516(3)
■ その考えはもう古い!—最新・感染症診療		
〈座談会〉		
臨床感染症 2000~2021		
—変わったこと・変わらないこと……………		
…青木 眞・岡本 耕・上原 由紀		564(5)
〈感染症検査の今〉		
遺伝子検査時代のグラム染色検査		

.....林 俊誠 570(5)	
感受性検査「SIR」アップデート	
.....藤倉 裕之・笠原 敬 574(5)	
迅速診断キット アップデート.....上原 由紀 578(5)	
血液培養—いま改めて知っておきたい事柄	
.....篠原 浩 584(5)	
CRP の上手な使い方	
.....青木 一晃・山本 舜悟 590(5)	
黄色ブドウ球菌菌血症と心エコー	
.....澤田 直子・大門 雅夫 594(5)	
〈診断・治療の最新の考え方〉	
〈治療薬・治療法再考〉	
経口スイッチの考え方・注意点	
.....田頭 保彰 604(5)	
治療期間について考え直す① 肺炎, 尿路感染症	
.....高倉 俊一 608(5)	
治療期間について考え直す② 菌血症, 骨髄炎	
.....稲田 誠・石金 正裕 614(5)	
微生物のサンクチュアリー—抗菌薬が届きにくい臓器に	
ついて考え直す.....榎 秀樹 622(5)	
緑膿菌薬—どんなときにカバーし, どう治療する?	
.....関谷 紀貴 630(5)	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	
—どんなときにカバーし, どう治療する?	
.....沖中 敬二 635(5)	
ペニシリン G, アンピシリンはどう使う?	
.....高橋 英明・中村 造 644(5)	
抗菌薬適正使用時代のフルオロキノロンはどう使う?	
.....十菱 大介 648(5)	
ESBL 産生菌, AmpC 産生菌	
—どんなときにカバーし, どう治療する?	
.....篠原 孝幸・原田 壮平 654(5)	
〈疾患へのアプローチ〉	
日常診療の中で遭遇する寄生虫感染症への	
アプローチ.....中村(内山)ふくみ 658(5)	
日常診療の中で遭遇する真菌感染症へのアプローチ	
.....阿部 雅広 664(5)	
日常診療の中で遭遇する動物由来感染症への	
アプローチ.....齋藤 真 670(5)	
〈忘れられない感染症ミミック—得られた教訓〉	
感染症ミミック①	
—組織浸潤をきたした副鼻腔疾患/繰り返す無菌性	
髄膜炎.....清田 雅智 676(5)	
感染症ミミック②	
—救命センターでのショック/昨日まで元気で	
今日ショック+ α陶山 恭博 680(5)	
感染症ミミック③	
—繰り返された熱の結末/長くて疑えない/	
見えなかった病歴.....國松 淳和 688(5)	
感染症ミミック④	

—COVID-19 禍中の発熱/寄生虫感染症を疑うとき	
.....萩野 昇 692(5)	
感染症ミミック⑤	
—血球減少をきたす胆嚢炎/抗菌薬が効かなく	
なった尿路感染症.....筒泉 貴彦 700(5)	
〈Column〉	
感染症の生涯学習法—未来予測を意識する	
.....岸田 直樹 601(5)	
日々のカンファレンスのアート	
.....岩田健太郎 620(5)	
5 Days: 感染症教育を1週間で	
.....伊東 完 641(5)	
ベッドサイドの鑑別診断	
.....山下 裕敬・岡 秀昭 704(5)	
〈付録〉	
よく用いられる抗菌薬の略語..... 706(5)	

■ デジタル内科学の勃興—オンライン診療, AI, 治療アプリ

〈Editorial〉	
デジタル内科学とは何か?—デジタルが切り開く	
新しい医療のかたち.....野村 章洋 756(6)	
〈オンライン診療〉	
日本におけるオンライン診療の変遷と向かうべき未来	
.....加藤 浩晃 761(6)	
内科領域におけるオンライン診療の実態	
.....山下 巖 768(6)	
オンライン診療サービス curon による遠隔医療	
.....原 聖吾 774(6)	
CLINICS を用いたオンライン診療・服薬指導	
.....稲生 優海 780(6)	
小児科領域におけるオンライン診療	
.....黒木 春郎 786(6)	
テレビ会議システムを利用した不眠症領域の心理療法	
.....中島 俊・大井 瞳・井上 真里 792(6)	
オンラインでの面会・看取りの現場	
.....廣橋 猛 796(6)	
〈人工知能技術の臨床応用〉	
データ駆動型社会と AI が織り成す新たなデジタル	
医療.....野村 章洋 803(6)	
AI を用いた問診システムによる業務効率化	
.....阿部 吉倫 807(6)	
機械学習を用いた感染症の画像診断	
—感染症検査の目的と AI の種類・適応範囲	
.....沖山 翔 812(6)	
人工知能技術を用いた遠隔 AI 病理画像診断	
.....飯塚 統 816(6)	
深層学習技術を用いた超音波画像診断の進歩	
.....鍵山 暢之 822(6)	

〈モバイルヘルスと治療用アプリ〉	
モバイルヘルスにおけるデジタル療法と治療用アプリ ケーション……………野村 章洋	828(6)
ニコチン依存症に対する治療用アプリ ……………佐竹 晃太	831(6)
非アルコール性脂肪肝炎(NASH)に対する非薬物療法 としての治療用アプリ……………佐藤 雅哉	837(6)
デジタル療法によるアルコール依存症治療への挑戦 ……………宋 龍平	841(6)
糖尿病治療を目的としたモバイルアプリの開発 ……………大西由希子	844(6)
ドライアイ用スマホアプリによる新しい医療ビッグ データの収集—P4 Medicineの実現に向けて ……………猪俣 武範	850(6)
Digital hypertension による高血圧管理 ……………岸 拓弥	855(6)
〈仮想現実(VR)/拡張現実(AR)/複合現実(MR)〉	
VR/MR/ARを用いたオンライン診療の未来 —Holomedicine 開発の経緯と臨床研究 … 関本 智子・大山 彦光・服部 信孝	859(6)
VRを活用したリハビリテーション ……………原 正彦	864(6)
VRによる医師・医学生を対象とした医学教育の最先端 … 横堀 将司・上路 健介・藪田 遼	868(6)
〈電子健康情報(EHR)/個人健康情報(PHR)とビッグ データ〉	
Apple Watch®から得られる生体データの医療応用 ……………木村 雄弘	876(6)
救急医療分野におけるデジタル技術活用とデータ 解析……………園生 智弘	884(6)
医療分野におけるブロックチェーン技術の応用 ……………市川 太祐	890(6)

■ “のど・はな・みみ”の内科学

〈総論〉

内科医にとって必要な耳鼻咽喉科の知識・スキルと その学び方……………高橋 優二	948(7)
耳鼻咽喉科医からみた内科医との適切な協働と役割 分担……………高北 晋一	952(7)
鼻鏡・耳鏡の使い方……………鈴木 富雄	958(7)
〈口腔〉	
口腔衛生と健康維持……………松本 朋弘	966(7)
味覚障害の鑑別と治療……………生井 明浩	972(7)
口内炎・口腔内潰瘍……………吉岡 哲志	978(7)
舌痛症と舌炎の鑑別と治療 ……………井野千代徳・田辺 正博	982(7)
開口障害をきたす内科疾患……………長野 広之	990(7)
〈咽喉頭〉	
嗄声……………許斐 氏元	996(7)
咽頭痛/咽頭炎……………宮里 悠佑	1002(7)

killer sore throat……………關 匡彦	1008(7)
咽喉頭異常感症……………鈴木 賢二	1012(7)
〈鼻〉	
嗅覚障害……………藤尾 久美・荻野枝里子	1016(7)
鼻出血……………白神 真乃	1020(7)
副鼻腔炎……………佐藤 公則	1026(7)
アレルギー性鼻炎(通年性/季節性) ……………菊田 周	1030(7)
〈耳〉	
耳痛……………齊藤 有佳・鎌田 一宏	1034(7)
内科における難聴診療……………高岸 勝繁	1038(7)
耳鳴……………南 修司郎	1044(7)
耳性めまい……………船曳 和雄	1048(7)
中耳炎……………兼定 啓子	1052(7)
外耳道炎……………木村百合香	1058(7)
〈その他〉	
嚥下障害の評価と対応……………津田 豪太	1062(7)
耳鼻咽喉科領域の悪性腫瘍……………宮崎 眞和	1066(7)
甲状腺・頸部の腫瘍 … 下出 祐造・北村 守正・辻 裕之	1071(7)
鼻腔・外耳道の異物への対応……………梅木 寛	1078(7)

■ ジェネラリスト・漢方—とっておきの漢方活用術

〈Editorial〉

治療の幅が広がる漢方という選択肢 ……………吉永 亮	1130(8)
〈漢方 Q & A〉	
漢方薬の効果判定……………吉永 亮	1134(8)
漢方薬の服用方法……………吉永 亮	1136(8)
漢方薬のやめどき……………吉永 亮	1138(8)
〈領域別おすすめ漢方治療〉	
消化器内科①—食欲不振, 機能性ディスペプシア, 逆流性食道炎……………星野 卓之	1140(8)
消化器内科②—下痢, 便秘, 過敏性腸症候群 ……………村井 政史	1144(8)
呼吸器内科—インフルエンザ, かぜ, 咳嗽 ……………阿南栄一郎	1152(8)
循環器内科—動悸, 浮腫……………土倉潤一郎	1158(8)
内分泌・糖尿病内科—肥満, 糖尿病神経障害 ……………牧 俊允	1164(8)
神経内科—認知症, BPSD……………井上 博喜	1170(8)
心療内科—不安, 抑うつ, 不眠 ……………千々岩武陽	1176(8)
耳鼻咽喉科—アレルギー性鼻炎, 副鼻腔炎, めまい ……………石毛 達也	1186(8)
泌尿器科—頻尿, 膀胱炎症状……………津嶋 伸彦	1190(8)
整形外科—肩こり, 腰痛……………宮西 圭太	1196(8)
産婦人科—月経前症候群, 更年期障害 ……………森 瑛子・小田口 浩	1202(8)
皮膚科—皮膚瘙癢症, 湿疹……………麻生 悠子	1207(8)

〈エキスパートに聞く！ 漢方治療の極意〉

救急と漢方	南澤 潔	1212(8)
急性期病棟と漢方	加島 雅之	1218(8)
頭痛と漢方	來村 昌紀	1222(8)
膠原病と漢方	野上 達也	1228(8)
高齢者疾患と漢方	田原 英一	1234(8)
口腔症状と漢方	柿木 保明	1238(8)
緩和ケアと漢方	間宮 敬子	1246(8)

〈漢方の副作用を知る〉

偽アルドステロン症—甘草に注意	吉野 鉄大	1252(8)
肝障害, 間質性肺炎—黄芩に注意	五野由佳理	1258(8)
腸間膜静脈硬化症—山梔子に注意	永田 豊	1264(8)
漢方とポリファーマシー	地野 充時	1268(8)

■ 日常診療で内分泌疾患を見逃さない！

〈Editorial〉

どういうときに内分泌疾患を疑う？	田辺 晶代	1317(9)
------------------	-------	---------

〈頻度が高い内分泌代謝異常〉

【偶発的な内分泌代謝異常の診療の進め方】

Na 代謝異常, SIADH	間中 勝則・楨田 紀子	1324(9)
Ca 値異常, ビタミン D 欠乏症	竹田 秀	1329(9)
低血糖	長尾 元嗣・福田いずみ	1336(9)

【薬剤による内分泌異常】

免疫チェックポイント阻害薬による内分泌異常	越智可奈子・大塚 文男	1340(9)
-----------------------	-------------	---------

〈代表的内分泌疾患〉

【下垂体疾患】

ACTH 依存性 Cushing 症候群—“劇症”メタボリック症候群を見逃さない！	菅原 明	1345(9)
先端巨大症, 成人成長ホルモン分泌不全症—特徴的な身体所見を見逃さない！	橋本真紀子	1350(9)
プロラクチノーマ—月経異常を見逃さない！	坂東 弘教・福岡 秀規	1355(9)
TSH 産生腫瘍—頭痛, 視野障害を伴った甲状腺中毒症状を見逃さない！	大月 道夫	1361(9)
下垂体機能低下症—食思不振, 体重減少, 低 Na 血症など, 症候の集積を見逃さない！	岡田 定規・高橋 裕	1365(9)
中枢性尿崩症—低張性多尿を見逃さない！	萩原 大輔・有馬 寛	1370(9)
非機能性下垂体腺腫, Rathke 嚢胞, 頭蓋咽頭腫—視力・視野障害と下垂体機能低下症を見逃さない！	西岡 宏	1374(9)

【Column】非特異的症候を契機に疑う下垂体機能低下

症の診断のポイント

	栗田 博仁・高橋 裕	1382(9)
--	------------	---------

【甲状腺疾患】

Basedow 病—動悸や甲状腺腫大, 眼球突出を見逃さない！	中島 康代	1385(9)
---------------------------------	-------	---------

Basedow 病以外の甲状腺機能亢進症—亜急性甲状腺炎, 無痛性甲状腺炎, 機能性結節

	鈴木 菜美・吉原 愛	1391(9)
--	------------	---------

甲状腺機能低下症, 橋本病—甲状腺腫を見逃さない！

	田上 哲也	1396(9)
--	-------	---------

【Column】甲状腺機能低下症と nonthyroidal illness の鑑別

	田上 哲也	1403(9)
--	-------	---------

甲状腺結節—精査・治療が必要な甲状腺結節を見逃さない！

	銭 真臣・杉谷 巖	1406(9)
--	-----------	---------

【副甲状腺疾患・骨代謝異常】

原発性副甲状腺機能亢進症, その他の高 Ca 血症—骨量低下, 腎・尿路結石, 高 ALP 血症を見逃さない！

	福本 誠二	1412(9)
--	-------	---------

【Column】局在不明の原発性副甲状腺機能亢進症の治療方針

	竹内 靖博	1418(9)
--	-------	---------

副甲状腺機能低下症—低 Ca 血症を見逃さない！

	野津 雅和・山内 美香	1420(9)
--	-------------	---------

【副腎】

原発性アルドステロン症—高血圧患者に潜む原発性アルドステロン症を見逃さない！

	和田 典男	1426(9)
--	-------	---------

副腎性 Cushing 症候群, サブクリニカル Cushing 症候群—満月様顔貌, 中心性肥満などを見逃さない！

	沖 隆・大西 裕太	1431(9)
--	-----------	---------

褐色細胞腫, パラガングリオーマ—交感神経刺激症候のある高血圧を見逃さない！

	方波見卓行・清水 紗智・松葉 怜	1435(9)
--	------------------	---------

原発性副腎皮質機能低下症, 副腎不全—低 Na 血症を見逃さない！

	田邊真紀子・川浪 大治	1440(9)
--	-------------	---------

副腎偶発腫—遭遇したら, 高血圧を見逃さない！

	上芝 元	1446(9)
--	------	---------

【性腺疾患】

Turner 症候群, Klinefelter 症候群—月経不順や小精巣を見逃さない！	中尾佳奈子・長谷川行洋	1450(9)
---	-------------	---------

〈Clinical Question〉

高齢者において成長ホルモン分泌不全や性ホルモン分泌不全を検索・治療する意義はありますか？	星野 良朋・竹下 彰	1454(9)
--	------------	---------

潜在性甲状腺機能異常は治療するべきでしょうか？	小林佐紀子	1458(9)
-------------------------	-------	---------

副甲状腺機能亢進症の手術適応を教えてください	垣田 彩子・鈴木 敦詞	1464(9)
------------------------	-------------	---------

非専門医は原発性アルドステロン症をどう診療すればよいですか？		
--------------------------------	--	--

…成瀬 光栄・立木 美香 田辺 晶代 1467(9)
副腎偶発腫瘍では全例でデキサメタゾン抑制試験が
必要ですか?……………曾根 正勝 1470(9)

■腎疾患—エキスパートへの質問で学ぶ診療のキホンと最新情報

〈腎機能の評価〉

腎機能のさまざまな評価法、また腎機能障害を早期に
診断するための新たなバイオマーカーについて教えて
ください……………藤田 陽子・今井 直彦 1508(10)

〈急性腎障害の診断と治療〉

血清クレアチニン上昇をみたときどう行動すべきでしょ
うか? 急性腎障害の予防、診断、治療のコツを教え
てください……………森久保 悟・今井 直彦 1512(10)

〈高血圧〉

高血圧の治療目標、具体的な治療・薬剤選択について
教えてください……………平和 伸仁 1517(10)

二次性高血圧の原因として多い原発性アルドステロン
症を非専門医が見落とさないようにするコツとその
治療を教えてください

……………尾関 良則・柴田 洋孝 1521(10)

〈よく出会う糸球体疾患の治療の実際〉

IgA 腎症の診断と治療の実際を教えてください

……………片渕 律子 1525(10)

膜性腎症の診断と治療の留意点は何でしょうか?

治療開始時期など具体的な治療のコツを教えてください……………横山 仁・古市 賢吾 1529(10)

ネフローゼ症候群に対する生物学的製剤の治療の適応
と効果について教えてください

……………勝野 敬之 1533(10)

〈糖尿病と腎障害〉

糖尿病性腎臓病(DKD)の診断と最新治療について教
えてください……………滝山 由美 1538(10)

〈感染症〉

腹膜透析における腹膜炎の診断と治療について教えて
ください……………伊藤 恭彦・鬼無 洋 1542(10)

腎移植における感染管理についての最新情報(ワクチ
ンなども含めて)を教えてください

……………嶋田 啓基・長浜 正彦 1546(10)

〈膠原病〉

強皮症診療の基本と腎クリーゼの対処について教えて
ください……………桑名 正隆 1550(10)

見逃しやすい SAPHO 症候群の診断と最新治療につい
て教えてください

……………岸本 暢将・辻 成佳 1556(10)

全身性エリテマトーデス診療の基本と最新治療を教え
てください……………木戸口元気・岡田 正人 1560(10)

ANCA 関連血管炎(GPA, MPA, EGPA)の診療の基
本と最新治療を教えてください

……………田巻 弘道 1566(10)

IgG4 関連疾患の診断と最新の治療について教えてく
ださい……………水島伊知郎・川野 充弘 1572(10)
痛風の尿酸降下療法: 薬剤選択と血清尿酸値の治療目
標値について教えてください

……………谷口 敦夫 1580(10)

〈補体関連疾患〉

補体の基礎および補体関連疾患の診断と抗補体薬によ
る最新の治療について教えてください

……………堀内 孝彦 1586(10)

非典型性溶血性尿毒症症候群(aHUS)を見逃さないよう
にする早期診断の注意点と治療の留意点を教えてくだ
さい……………池田洋一郎 1590(10)

〈腫瘍・血液疾患とその周辺疾患と腎臓〉

oncophrology とは何か、またがん薬物療法における
腎機能の正しい評価法と薬物投与量の調節の仕方を
教えてください……………和田 健彦 1595(10)

Castleman 病, TAFRO 症候群, POEMS 症候群の診
断と治療について最新の情報を教えてください

…中世古知昭・大和田千桂子・渡部 玲子 1600(10)

骨髄腫関連の腎障害や MGRS の診断と最新の治療を
教えてください……………水野 真一 1605(10)

〈水・電解質〉

カリウム摂取低下は高血圧を引き起こす? その機序を
教えてください。またミネラルコルチコイド受容体
の多彩な作用について最新の知見を教えてください

……………柴田 茂 1610(10)

皮膚や骨などの血液中以外でのナトリウムの役割や骨
粗鬆症・高血圧・感染症との関係などの興味深い最
近の知見を教えてください

…木戸口 慧・北田 研人・西山 成 1616(10)

血中リン濃度の制御機構および関連疾患と治療につ
いて教えてください

……………杉山 紘基・宮本 賢一 1620(10)

〈酸-塩基平衡〉

心不全のプロセミド治療中に HCO_3^- , PaCO_2 が上昇し
た場合の治療と、高度の乳酸アシドーシス患者を診
たときの対処について教えてください

……………田中 竜馬 1624(10)

〈利尿薬やその他の新薬の有効性と注意すべき副作用〉
「尿が出ない!」だから利尿薬を投与する? 利尿薬投
与の基本と最新の使用方法について教えてください

…緒方 聖友・谷澤 雅彦・柴垣 有吾 1628(10)

心不全や AKI に ANP(心房性ナトリウム利尿ペプチド)
を投与すべきか否か? またその効果はあるのか?
について教えてください

……………山田 博之・横井 秀基 1636(10)

SGLT2 阻害薬と MR 拮抗薬の有用性について教えて
ください……………木戸口 慧・西山 成 1641(10)

「HIF-PH 阻害薬の光と影」の本当のところを教えて
ください……………濱野 高行 1647(10)

〈遺伝性腎疾患〉

遺伝学的検査をすべき成人の遺伝性腎疾患について教えてください……堀之内智子・野津 寛大 1651(10)
ミトコンドリア腎症とは？ その診断と治療について教えてください……今澤 俊之 1655(10)

■ 鑑別診断を意識した一非専門医のための胸部画像診断

〈まずは基本を押さえる〉

胸部 X 線写真で肺門部の構造を理解する
……………中島 幹男 1698(11)

胸部 X 線写真で確認すべき 3 本の線
……………中島 幹男 1700(11)

胸部 X 線写真で確認すべき線が追えないとき
……………中島 幹男 1704(11)

胸部 CT で解剖を理解する—肺野条件
……………三輪 槇・中島 幹男 1708(11)

胸部 CT で解剖を理解する—縦隔条件
……………三輪 槇・中島 幹男 1714(11)

胸部 CT で小葉の構造を理解する
……………小林 研一 1720(11)

どんなときに造影 CT？……………笹沢 俊吉 1724(11)

ICU におけるポータブル胸部 X 線写真の役割
……………船曳 知弘 1730(11)

難解な間質性肺炎を必要とところだけわかりやすく
……………榎本 紀之 1736(11)

〈主訴から攻める〉

長引く喀痰・咳嗽……………松浦 駿 1743(11)

急性の呼吸困難—低酸素血症……………船曳 知弘 1748(11)

胸痛・背部痛……………三好 祐輔・瀬尾龍太郎 1753(11)

慢性の労作時呼吸困難……………藤澤 朋幸 1759(11)

呼吸不全なのに胸部 X 線写真で異常がないとき
……………中島 幹男 1764(11)

特徴的な病歴があるとき……………松浦 駿 1768(11)

抗菌薬に反応しない肺炎
……………植松 真生・四方田真紀子 1772(11)

〈画像パターンから攻める〉

すりガラス陰影……………林 杏奈・山本 和男 1776(11)

浸潤影と air bronchogram……………小林 研一 1780(11)

白いほうが異常なのか、黒いほうが異常なのか
……………中島 幹男 1785(11)

両肺が真っ白なときに、頭が真っ白にならない
ように考えること……………大下慎一郎 1789(11)

小さいすりガラス陰影、放っておいていいの？
……………河野 雅人 1796(11)

結節影と腫瘍影……………柄山 正人 1802(11)

小葉間隔壁の肥厚—septal line pattern
……………中村祐太郎 1808(11)

これって心原性肺水腫でいいの？—butterfly shadow
……………川合 祥子・中島 幹男 1812(11)

メロンの皮みたいな crazy-paving pattern
……………鈴木 勇三 1819(11)

木の枝に実があるような tree-in-bud appearance
……………齊藤 均 1822(11)

細かいツブツブが無数に！—small nodular pattern
……………齊藤 均 1828(11)

多発囊胞なのか、気腫なのか、蜂巣肺なのか
……………穂積 宏尚 1834(11)

白い部分と黒い部分が入り混じるとき—mosaic perfusion
……………四方田真紀子 1842(11)

COVID-19 っぽいですが？
……………三輪 槇・中島 幹男 1846(11)

片側大量胸水を見たら……………赤松 泰介 1852(11)

胸膜の肥厚を見たら……………横須賀哲哉 1856(11)

気胸を見たら……………横須賀哲哉 1862(11)

■ 外来で役立つ Aha! クエスチョン—この症状で、次は何を聞く？

〈総論〉

問診の心得……………勝倉 真一 1919(12)

〈全身〉

発熱 「食欲はありますか？」……………小林 正宜 1922(12)

全身倦怠感 「寝汗をかきますか？」
……………石丸 裕康 1927(12)

体重増加 「薬で体重が増えることもありますか、
追加や変更はなかったですか？」
……………西垂水 和隆 1931(12)

体重減少(食欲低下を伴わない) 「血のつながったご
家族に、糖尿病や甲状腺の病気、癌の方はいますか？」
……………富山 周作 1935(12)

食欲低下 「何か思い当たるストレスはありませんか？」
……………大武 陽一 1940(12)

浮腫 「最近、何か飲み始めた薬はありませんか？」
……………佐々木陽典 1944(12)

異常知覚 「しびれは左右対称で末梢のほうが強いで
すか？」……………西 知世・多胡 雅毅 1950(12)

〈頭頸部〉

急性の頭痛 「頭痛は姿勢によって変化しますか？」
……………塩尻 俊明 1954(12)

慢性の頭痛 「片目の奥がえぐられるように痛いでは
か？」……………中山 明子 1958(12)

失神 「気を失う前、誰か近くにいましたか？」
……………加藤 之紀 1962(12)

痙攣 「痙攣の持続時間は 1 分以内でしたか？」
……………原田 拓 1967(12)

めまい 「安静にしていると、数分でめまいは改善し
ますか？」……………浅田 萌・北 和也 1974(12)

嚥下障害 「食事時のむせや咳き込みが気になります
か？」……………山田 有統・鵜飼万実子 1979(12)

〈胸部〉

- 急性咳嗽 「時間や場所、何をしているかで、咳のひどさは変わりますか？」……………皿谷 健 1984(12)
- 慢性咳嗽 「喉のイガイガ感がありますか？」……………倉原 優 1987(12)
- 血痰 「これまでに肺の病気をされたり、『肺に影がある』と言われたことはありますか？」……………長尾 大志 1994(12)
- 呼吸困難 「呼吸のしづらかさは姿勢により変化しますか？」……………亀井 博紀 1998(12)
- 胸痛 「何をしているときに痛みがひどくなりますか？」……………近藤 猛 2003(12)
- 動悸 「最近、便の色が黒くありませんか？」……………大高 由美 2006(12)

〈腹部〉

- 嘔気・嘔吐 「食事の前後に症状は悪くなりますか？」……………西口 翔 2010(12)
- 急性の上腹部痛 「この3日間のうちに、お寿司やお刺身を食べましたか？」……………横江 正道 2015(12)
- 急性の下腹部痛 「食欲不振はありますか？」……………望月 理玄・窪田 忠夫 2019(12)
- 慢性の腹痛 「痛い場所を触ると、ピリピリ、チクチクといった変な感覚がありますか？」……………水本 潤希 2022(12)
- 血便 「腹痛はありますか？」……………西信 俊宏 2029(12)
- 下血 「最近に飲み始めた薬はありませんか？」……………中野 弘康・綿貫 聡 2033(12)
- 腹部膨隆 「お腹が張る前に、皮疹が出ませんでしたか？」……………國友耕太郎 2036(12)
- 尿閉 「お尻やおしもの辺りにぶつぶつができたり、ピリピリした痛みはありませんか？」……………玉井 道裕 2039(12)
- 血尿 「以前の健診でも血尿を指摘されましたか？」……………坂本 純永・佐々木 彰 2044(12)

〈筋肉・関節〉

- 筋力低下 「椅子から立ち上がる際やドライヤーを使うときなどに痛みが強くなりますか？」……………鋪野 紀好 2049(12)
- 腰痛 「発熱はありますか？」……………勝倉 真一 2054(12)
- 関節痛 「寒いときに指先の色が変わりませんか？」……………澤近 弘 2058(12)

■ 血液疾患をプライマリ・ケアではどこまで診て、どのように専門医と連携をとるべきか？

〈検査の解釈〉

- 血算・血液像・骨髓像の見かた……………三ツ橋雄之 2106(13)
- 免疫電気泳動・遊離軽鎖の見かた……………原田 健右 2110(13)
- 〈診断・治療方針決定のために専門医へ速やかに紹介

することが望ましい場合〉

- 貧血・血小板減少を伴う白血球増加を呈する患者……………名島 悠峰 2114(13)
- 汎白血球減少で受診した造血不全……………石山 謙 2119(13)
- 網状赤血球著減を伴う正球性貧血……………藤島 直仁 2124(13)
- LDH 上昇と網状赤血球上昇を伴う貧血……………平川 結梨・北尾 章人 2130(13)
- 3 系統の血球上昇を認める患者—骨髓増殖性腫瘍：CML, PV, ET, PMF……………枝廣 陽子 2135(13)
- リンパ球を中心とした白血球増加……………川上 徹・中澤 英之 2140(13)
- 増大速度の緩やかな無痛性リンパ節腫大……………福原 規子 2145(13)
- 増大速度の速い、もしくは有症状の無痛性リンパ節腫大……………宮崎 香奈 2149(13)
- 蛋白上昇、アルブミン低値、免疫グロブリン増加……………北舘 明宏 2152(13)
- 血小板減少症……………柏木 浩和 2158(13)
- 成人発症の関節内・筋肉内出血……………徳川多津子 2163(13)
- 〈一般内科、プライマリ・ケア領域で診断から治療まで可能な場合〉
- 小球性貧血患者の診断と治療について……………濱木 珠恵 2167(13)
- 大球性貧血……………木村 勇太 2171(13)
- 二次性血球減少……………河村 俊邦 2175(13)
- 好酸球増加……………遠山 和博 2179(13)
- 〈専門医の診断・治療後に一般内科医、プライマリ・ケア医との連携を行う場合〉
- 急性白血病・アグレッシブリンパ腫の治療後の経過観察……………内山 倫宏 2185(13)
- 低悪性度リンパ腫(indolent lymphoma)の経過観察・再紹介について……………頼 晋也 2190(13)
- 骨髓増殖性腫瘍の治療・経過観察・再紹介など……………幣 光太郎 2194(13)
- 造血不全(MDS・AA)、ITP に対してプライマリ・ケア医が実施できる治療・経過観察……………町田真一郎 2198(13)
- 血液疾患患者の感染性合併症……………木村 俊一 2203(13)
- 血液疾患におけるオンコロジーエージェンシーへの対応……………西森 久和 2210(13)
- HTLV-1 キャリアと成人 T 細胞白血病・リンパ腫……………豊田 康祐 2214(13)
- 〈専門医から一般内科へ紹介する場合〉
- 移植後長期フォローアップ外来と非専門医の連携……………黒澤 彩子 2220(13)
- 病院における緩和ケア……………金井 良晃 2227(13)
- 在宅医療および在宅緩和ケア……………山村 武史 2233(13)

輸血と輸血後合併症について

……高橋 渉・中村 文美・三谷 絹子 2237(13)

〈付録〉

血液疾患の診療フローチャート

……………渡邊 純一 2244(13)

【見て、読んで、実践！ 神経ビジュアル診察】

歩き方がヘン！?—Parkinson 病の歩行

……………難波 雄亮 1(1)

注意が向かない、何かおかしい！?—無視症候群

……………難波 雄亮 177(2)

話せないのにどうやって！?—意識障害の診察法

……………難波 雄亮 369(3)

【読んだら、ちょいあて！ POCUS のススメ】

あるの？ ないの？ その気胸……鈴木 昭広 549(5)

急性心不全を POCUS で評価……岡田 基 741(6)

女性のエコー、ここをチェック！

……………柴田 綾子 931(7)

尿道カテーテルで困ったら……亀田 徹 1115(8)

救急・災害医療で役立つ血管 POCUS

……………太田 智行 1299(9)

皮膚・皮下病変の POCUS……太田 智行 1491(10)

五十肩の超音波診療……皆川 洋至 1681(11)

頭部 POCUS による上気道狭窄の診断

……………古川 まどか 1901(12)

小児腸重積症の POCUS……野中 航仁 2091(13)

【フレーズにピンときたら、このパターン！

鑑別診断に使えるカード】

「耳鳴」「好酸球増加」「家族歴を認める気胸」

……………長野 広之 158(1)

「palpable purpura」「両側性ばち指」「高拍出性心不全」

……………長野 広之 344(2)

「動脈拍動正常の blue/purple toe」「Raynaud 現象」

「難治性皮膚潰瘍」……長野 広之 522(3)

「座ると息がしんどい(platypnea orthodeoxia

syndrome)」「治らない肺炎(nonresolving

pneumonia)」「高齢発症の頭痛」

……………長野 広之 709(5)

「徐脈を伴うショック」「遅発性アナフィラキシー

(delayed anaphylaxis)」「急性発症の開口障害」

……………長野 広之 896(6)

「痛みを伴う単眼視力低下」「両側の急性視力障害」

「巨大脾腫」……長野 広之 1082(7)

【ここが知りたい！ 欲張り神経病巣診断】

総論(前編)……難波 雄亮 719(5)

総論(後編)……難波 雄亮 904(6)

脳出血①錐体路障害……難波 雄亮 1090(7)

脳出血②錐体路障害と感覚障害

……………難波 雄亮 1278(8)

脳出血③半身の知覚異常……難波 雄亮 1473(9)

脳出血④皮質下出血～意識障害と麻痺～

……………難波 雄亮 1665(10)

脳出血⑤後頭葉～視野の問題～

……………難波 雄亮 1876(11)

脳出血⑥側頭葉の皮質下出血……難波 雄亮 2063(12)

脳出血⑦頭頂葉の皮質下出血……難波 雄亮 2254(13)

【主治医の介入でこれだけ変わる！ 内科疾患の

リハビリテーション】

内科疾患でリハビリ・運動療法が必要なわけ

……………上月 正博 1660(10)

機能障害・身体機能の評価……上月 正博 1868(11)

リハビリ・運動療法の基本……上月 正博 2078(12)

リハビリ・運動療法を長続きさせるには？

……………上月 正博 2248(13)

【目でみるトレーニング】

問題 970 ……………岩崎 靖 150(1)

問題 971 ……………平岩 卓 151(1)

問題 972 ……………多賀谷知輝 152(1)

問題 973 ……………志水 隼人 353(2)

問題 974 ……………久田 敦史 354(2)

問題 975 ……………福山 一 355(2)

問題 976 ……………志水 隼人 531(3)

問題 977 ……………福山 一 532(3)

問題 978 ……………佐伯 一成 533(3)

問題 979 ……………久田 敦史 727(5)

問題 980 ……権田 勇樹・堀内 優 728(5)

問題 981 ……………多賀谷知輝 730(5)

問題 982 ……………岩崎 靖 912(6)

問題 983 ……………堀内 滋人 913(6)

問題 984 ……………平岩 卓 914(6)

問題 985 ……………高瀬 啓至 1095(7)

問題 986 ……………上月 周 1096(7)

問題 987 ……………岩崎 靖 1098(7)

問題 988 ……………浅見 貴弘 1284(8)

問題 989 ……………岩崎 靖 1286(8)

問題 990 ……………中島 崇作 1288(8)

問題 991 ……………上月 周 1477(9)

問題 992 ……………石田 正之 1478(9)

問題 993 ……………中島 崇作 1480(9)

問題 994 ……………上月 周 1669(10)

問題 995 ……………岩崎 靖 1670(10)

問題 996 ……………石田 正之 1671(10)

問題 997 ……………大久保佳昭 1881(11)

問題 998 ……………大前 知也 1882(11)

問題 999 ……………石田 正之 1883(11)

問題	1000	岩崎 靖	2069(12)
問題	1001	浅見 貴弘	2070(12)
問題	1002	大久保佳昭	2072(12)
問題	1003	岩崎 靖	2259(13)
問題	1004	明保 洋之	2260(13)
問題	1005	平岡 淳	2261(13)

【増刊号】

■ 救急診療 好手と悪手

中枢神経系

くも膜下出血—いつもと違う頭痛を見逃すな！	青木 信也	10(4)
脳梗塞—脳梗塞 mimics を見逃さない！	杉田陽一郎	14(4)
一過性脳虚血発作—迅速な診断，治療開始で脳梗塞発症を予防せよ！	橋元由紀子・堤 健	19(4)
可逆性脳血管攣縮症候群—時間軸を味方につけた診療を！	松原 知康	22(4)
静脈洞血栓症，椎骨・内頸動脈解離—疑って，みつけ出せ！	北井 勇也	26(4)
髄膜炎，脳炎—腰椎穿刺をためらうな！	仁平 敬士	31(4)
軽症頭部外傷—頭部 CT を撮影して安心するな！	坂本 壮	36(4)
慢性硬膜下血腫—頻度は高いがつかみどころがなく，意外に診断が難しい疾患	藤森 大輔・坂本 壮	40(4)
てんかん—発作時は，迅速な鎮火と丁寧な現場検証を行う	音成秀一郎	44(4)
Guillain-Barré 症候群—GBS を否定する際はご用心！	栗原 健	48(4)
片頭痛—らしさを正しく見積もり，トリプタンの適正使用を！	松原 知康	52(4)

循環器系

急性冠症候群—鑑別診断を考えながら，予後を改善する治療を優先する	戴 哲皓・水野 篤	58(4)
急性大動脈解離—胸痛がないから否定的？非典型例を見逃すな！	中島 聡志	64(4)
肺血栓塞栓症—ガイドラインに則り，適切に診断しよう	大前 奈菜・高橋 仁	68(4)
失神—心原性失神のリスク層別化を怠るな！	堀江 勝博・清水 真人	74(4)
心房細動，上室性頻拍—救急外来から患者に寄り添う不整脈治療を始めよう	井上 敦人・溝辺 倫子	78(4)
急性心不全—適切に初期評価，迅速に治療開始，タイムリミットは1時間！		

腹部大動脈瘤切迫破裂—困ったときの三日月探し	戴 哲皓・水野 篤	84(4)
	磯矢 嵩亮・舩越 拓	90(4)

呼吸器系

市中肺炎—COVID-19 流行期でも正しく恐れてより良い診療を目指す	黒田 浩一	96(4)
誤嚥性肺炎，誤嚥性肺臓炎—誤嚥性肺炎に絶食，抗菌薬だけで終わらせない！	大浦 誠	102(4)
気管支喘息—アクションプランで救急外来受診を減らそう！	倉原 優	106(4)
気胸—「気胸⇒ドレーナージチューブ挿入」の手順にもピットフォールが…	長尾 大志	110(4)
COPD 増悪—心不全がまぎれているかもしれない！	倉原 優	114(4)
急性喉頭蓋炎—喉を激しく痛がっていたら非常事態！	坂本 壮	117(4)

消化器系

消化管出血—全身管理とともに，適切なタイミングでの内視鏡治療を！	村島 侑子・清水 真人	122(4)
麻痺性イレウス，腸閉塞—日暮れまで待つな！朝まで待つな！	橋本恵太郎	126(4)
憩室炎，憩室出血—軽症に適切に対応し，隠れている重症を見逃さない	徳田 嘉仁	129(4)
虚血性腸炎—絶対に原因検索を忘れてはいけない！	柏木 克仁・佐々木陽典	134(4)
虫垂炎—救急で見逃さないための戦略	野溝 崇史・和足 孝之	139(4)
感染性腸炎—「急性胃腸炎」の診断は誤診の王様	野溝 崇史・和足 孝之	142(4)
非閉塞性腸管虚血(NOMI)，上腸間膜動脈(SMA)閉塞—腸間膜虚血の病態把握と即座の画像検査を！	原田 拓	146(4)
急性胆嚢炎—速やかな重症度判定と外科医へのコンサルトが要！	中野 弘康	150(4)
急性胆管炎—胆道ドレーナージに関するコンサルトのタイミングを逃すな！	中野 弘康	155(4)
急性膀胱炎—初期の輸液を怠るな！	中野 弘康	160(4)
腹膜炎(消化管穿孔)—原因の見極めを怠るな！	坂上谷 侑・小坂鎮太郎	165(4)

内分泌系

低血糖—血糖補正だけで終わりじゃない！	糟谷 智史	172(4)
高血糖緊急症—インスリン投与の前に必ず輸液！K check！	糟谷 智史	175(4)

甲状腺緊急症—稀な病態に適切に対応し、専門医に
引き継げるように！
……………大塚 勇輝・大塚 文男 179(4)
副腎不全—原因不明のショックを診たら積極的に
疑う！……………森川 暢 185(4)

腎・泌尿器系

急性腎障害—救急外来で「疑って、みつけて、初期
治療！」……………日下 伸明 190(4)
尿管結石—「痛みの王様」を診断から予防まで正しく
マネジメント！
……………中村 聡志・坂本 壮 194(4)
高 K 血症—頻度が高く緊急性も高い！迅速に対応
しよう！……………白神 真乃 198(4)
低 K 血症—放っておくと大惨事！補正のタイミング
を見逃すな！……………松井 大知・安藤 裕貴 202(4)
低 Na 血症—原因検索とその原因に基づいた対応を！
……………藤井 真 207(4)
高 Ca 血症—探せ、みつけれ、高 Ca！
……………麥倉 慎・安藤 裕貴 210(4)
横紋筋融解症—腎障害を予防せよ！
……………長谷部圭亮・坂本 壮 214(4)
尿閉—対応療法で終わらせない！
……………天野 雅之 218(4)

感染症

敗血症—qSOFA よりも大切なこと
……………坂本 壮 224(4)
尿路感染症—診断・治療には総合力が試される！
……………古谷 賢人・伊東 直哉 228(4)
皮膚軟部組織感染症—皮膚所見だけでは診断でき
ない!?……………古谷 賢人・伊東 直哉 231(4)
急性中耳炎—適切な診断と抗菌薬選択をせよ！
……………鋪野 紀好 234(4)
急性副鼻腔炎—適切な抗菌薬を選択せよ！

……………鋪野 紀好 236(4)
HIV 感染症、伝染性単核球症—性交渉歴と先を
見据えた診療を大切に！……………宮上 泰樹 240(4)
結核—疑うべき患者、サインを見逃すな！
……………根本 隆章 245(4)
インフルエンザ—「疑ったら、全員に迅速抗原検査を
して抗インフルエンザ薬…」はダメ！
……………織田錬太郎 249(4)
COVID-19—感染防御の手をゆるめるな！
……………川村 繭子・川村 隆之・岡 秀昭 256(4)
破傷風—誤認・誤解されやすい vaccine-preventable
disease……………鈴木 智晴 261(4)

その他

アナフィラキシー—アドレナリンのタイミングを
逃すな！……………坂本 壮 268(4)
急性アルコール中毒、アルコール関連疾患
—100 人に 1 人の重症患者を見逃さない！
……………宮本 雄気 273(4)
一酸化炭素中毒—意外と知らない診断プロセスと
治療法を見直そう……………薬師寺泰匡 279(4)
熱中症—疾患の鑑別よりも救急対応を優先せよ！
……………神田 潤 282(4)
偶発性低体温症—患者を動かすときは愛護的に、
そして先手をうつ！……………山田 浩平 286(4)
異物誤飲—いつ、何を誤飲したかが重要！
……………栗原 健 290(4)
蕁麻疹—点滴 1 本で帰していませんか？
……………山本 洋輔 294(4)
パニック障害—適切に診断し、精神科に紹介する
タイミングを逃さない！……………小野 正博 298(4)
急性薬物中毒—対応は ABCDE！
……………薬師寺泰匡 302(4)
過換気症候群—ペーパーバッグ法での低酸素に注意！
……………重松咲智子・久村 正樹 306(4)